

お知らせ

小山市男女共同参画推進協議会総会・研修会にご参加ください！

- ・期日：2019年7月25日（木）午後1時30分～
- ・場所：小山市男女共同参画センター（小山市八幡町1-4-5）
※詳細は、総会・研修会の案内通知をご覧ください。

男女共同参画推進フォーラム参加者募集します

- ・期日：2019年8月29日（木）または30日（金）
- ・場所：国立女性教育会館：NVEC（埼玉県嵐山町菅谷728）
※市バスにて送迎。詳細の案内は、後日通知いたします。

日本女性会議2019さの参加者募集します

- ・期日：2019年10月25日（金）～26日（土）
- ・場所：佐野市文化会館（佐野市浅沼町508-5）ほか
※市バスにて送迎。詳細の案内は、後日通知いたします。



さてクイズです。役員の方々ですが、どなたでしょう？



岡崎 支美子 (顧問) 【敬称略】
 片柳 元 (会長)
 黒川 夫 (副会長)
 福田 哲子 (副会長)
 田中 美夫 (会計)
 関 比佐江 (啓発部会長)
 貫井 芳雄 (啓発部副会長)
 大細 真樹子 (地域交流部会長)
 大久保 幸子 (地域交流部副会長)
 鈴木 晴夫 (広報部会長)
 佐伯 緑 (広報部副会長)
 渡野 由利江 (理事・広報部会員)
 河赤 利江 (理事・広報部会員)
 根 紗子 (理事・広報部会員)
 大堀 不子 (理事・広報部会員)
 森 英子 (理事・広報部会員)
 柏 瀬 (監事)
 古賀 章子 (監事)
 菅 妙子 (監事)

〈編集後記〉

小山市男女共同参画推進協議会と小山市女性団体連絡協議会などが合流し、新しいメンバーで会報誌を作ることになりました。男女共同参画という堅くて難しいテーマを、みなさんにわかりやすく、身近に感じてもらえるにはどうすれば良いのだろうと意見が白熱しました。新しい協議会の雰囲気をお届けできたらと思います。

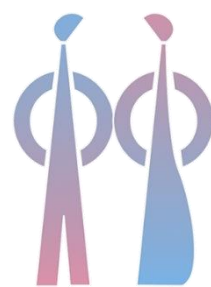


男女共同参画社会とは

性別にとらわれず、社会のあらゆる分野に女性も男性も等しく参画し、家庭・地域・職場において協力し、共に責任を担い、一人ひとりが個性と能力を発揮し、家庭とその他の生活活動が、両立できる社会です。

発行：小山市男女共同参画推進協議会
 編集：小山市男女共同参画推進協議会 広報部会
 〒323-0031 栃木県小山市八幡町1-4-5
 (事務局) 小山市役所 男女共同参画課
 電話：0285 (22) 8078
 FAX：0285 (22) 8079

小山市男女共同参画推進協議会 会報



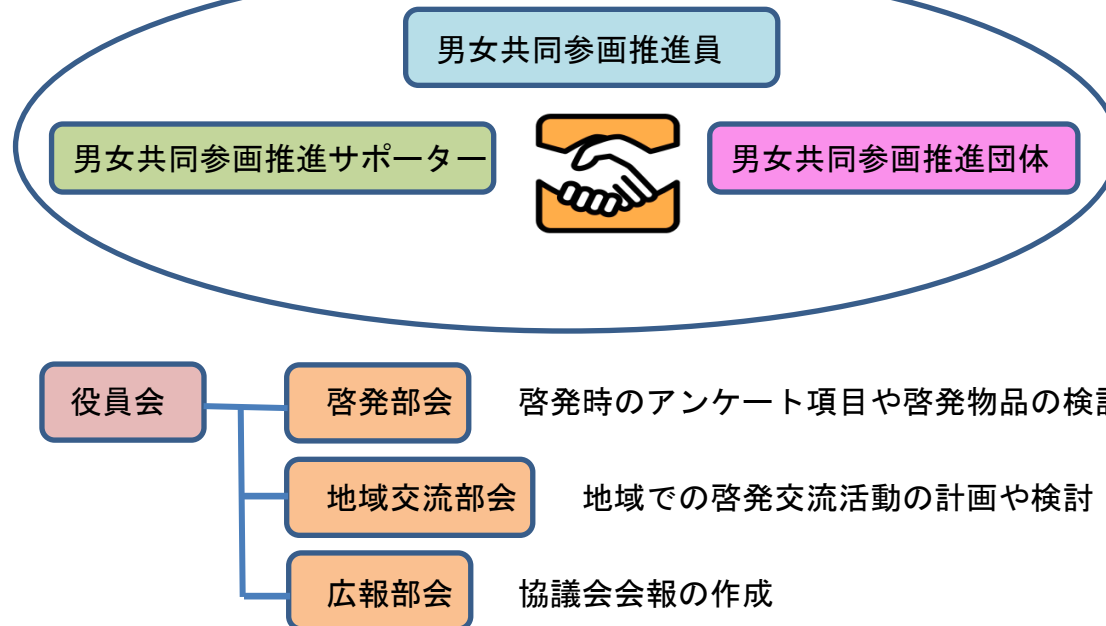
にじいろ おやま

創刊号 2019年6月30日 発行

〈はじめに〉

小山市男女共同参画推進協議会は、平成25年発足から6周年になります。これもひとえに会員の皆様方のご努力、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。本協議会は、推進員・サポーターの資質向上と機能の強化を図るとともに、相互の交流と研修を通じて親睦を深め、小山市の男女共同参画社会の実現に寄与することを目的としております。平成30年度に本協議会の趣旨に賛同する市民団体と合併し、新たな協議会として再スタートを切りました。これを機に、新たに啓発部会・地域交流部会・広報部会を設けるなど組織体制の強化を図り、各部会の皆様に活動していただいているところです。今後とも、会員皆様の力で、地域における男女共同参画に対する意識啓発を推進してまいりたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

小山市男女共同参画推進協議会



〈小山市男女共同参画 推進協議会の活動〉

啓発部会の活動

推進協議会は、啓発部会・地域交流部会・広報部会ができたことで、男女共同参画の推進を図るための新たな出発を迎えました。その中の啓発部会に参加して思ったことですが、男女共同参画を浸透させるには、わかりやすい方法で啓発活動をしていかなければならないのですが、それがなかなかむずかしい。

現在公民館まつり、農業祭、道の駅でのブランドまつり等で、ピンクの法被を着て、今年度もシールを使ったアンケート調査、啓発説明資料の配布を実施して、市民の皆様へ普及活動を行っています。今後活動内容等を検討しながら啓発を行っていきたく思いますので、今後とも啓発活動に皆様のご協力をお願いします。



地域交流部会の活動

今年度より、新たに「地域交流部会」が発足しました。部会は27名です。

平成30年10月26日(金)「男女共同参画推進のための交流会」を間々田市民交流センターで開催しました。講師の工藤敬子氏から「性も年齢も超えて、自分らしく生きる」をテーマにDVDの上映と講話がありました。46名の参加があり、グループに分かれての意見交換では、初めて参加した方も多く、皆さんがとてもわかりやすく大変参考になり勉強になりましたとのことでした。

また、男女共同参画課の協力をいただき、紙芝居(案)「うらたろう」を作成しています。地域交流会での紙芝居を演じて、自分らしさを発揮するための意識の啓発活動につながるよう頑張っています。



広報部会の活動

広報部会は他の部会と異なり男女共同参画推進協議会の役員のみで構成され、1年に1回「協議会会報」を作成する事を主な活動内容としています。啓発部会や地域交流部会では男女共同参画社会の実現に向けて、多種多様な活動を実施しておりますが、その活動状況や成果、改善点等を正確な記録として残せるよう「協議会会報」を作成していくつもりです。

また、推進協議会の趣旨をより多くの方々に理解していただけるよう、研修会の報告や体験活動、さらに、いろいろなエピソード等を載せ、興味・関心をもって読んでいただけるような内容にしたいと思っています。



総会と研修

平成30年7月26日(木)午後1時30分から小山市立文化センター小ホールで、市長から新しい推進員の方々への委嘱状交付がありました。続いて小山市男女共同参画推進協議会総会となり、会長、市長のあいさつの後、議長が選出され議事に入り、平成29年度事業・決算・監査報告の後、旧女性連協などの団体が協議会に合流することでの会則改正(案)と役員改選(案)、平成30年度事業・予算計画(案)が、原案通り承認されました。

総会後研修会に入り、男女共同参画係長から推進員と協議会についての説明。続いて男女共同参画かたりすとの奥山和弘氏の『男女共同参画“途中の一步”～「しか」から「でも」へ～』の講話は、昔ばなしを男女共同参画の視点で見直した内容だったので、わかりやすく、興味深い研修でした。



その他研修

平成30年12月12日(水)パーティ公開講座「男性学の視点から」

高度成長期では、月100時間の残業に専業主婦という家族モデル。現在は少子高齢化、多様な社会環境が激変している。しかし、社会通念はなかなか変わらず、各種問題が生じている。習慣、常識を一気に変える事は難しく、講師の田中俊之准教授の話によると、少しずつ変えていくことが大切との事。まず自分を“変える”には、外出・趣味・旅行・地域活動等が良いそうです。特に男性は、これから実践しましょう。



平成31年2月20日(水)県防災館&パーティでの防災研修

煙・大風・地震などの疑似体験をしてきましたが、特に予測のできない地震の場合、身ひとつ守ることの大事さを痛感しました。

避難時の用具はとても充実していて、簡易トイレ、段ボールのベット・更衣室、衛生用品などの備えがあり、プライバシーを守れることに満足。避難所等の用具に頼らず、個人でできる避難用品を揃えておこうと思った研修でした。



6月のコラム



「ジューンブライド(June Bride)」: 古くからヨーロッパで「6月に結婚すると花嫁は幸せになれる」との言い伝えがあります。

ローマ神話で結婚を司る女神「Juno(ジュノ)」が守護する月が6月(June)であることから、この月に結婚すると生涯幸せに暮らせると言われています。また、かつてのヨーロッパでは、3~5月が農繁期のため結婚が禁じられていて、結婚が解禁となる6月に結婚式を挙げるカップル多く、祝福ムードでいっぱいだったという説もあります。日本は環境などの違いから、6月挙式の件数が多いようですが、この言い伝えどう思います?